



月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 塗りつぶしの日 は 休館です。

### 『世界最高の美術館と名画 100』 永井龍之介[監修]/世界文化社/723 円



ルーヴル美術館、プラド美術館、バチカン美術館など、世界 20 の美術館の来歴や特徴などとともに、そこに収蔵されている珠玉の名画 100 点を紹介する。「名画の条件とは」「名画と画商」といったコラムも収録。世界の有名美術館の代表作を 1 冊で楽しめます！

### 『著作権のツボとコツがゼッタイにわかる本』

三坂和也/秀和システム/021.2 ミサ

生成 AI の作成した文章に著作権は発生するの？ SNS にアニメ・漫画のキャラクターを手描きして載せてもいい？ テレビ映像のスクショを使っても OK？ 著作権のツボとコツを、Q&A 形式で具体的に解説する。

### 『和本図譜』

日本近世文学会[編]/文学通信/022.3 ニホ

江戸時代の和本のグラフ誌。「摺る」「彩る」「文字絵」など 48 のお題で、和本のいろはを写真とともに解説。また、研究者と論文に光を当て、研究のバックヤードを紹介する。

### 『謎とき世界の宗教・神話』

古市憲寿/講談社/160 円

キリスト教はなぜ「長持ち」したのか。ヒンドゥー教にとっての「神」とは。玄奘はなぜインドへ向かったか。「本」を通じて世界の宗教や神話の不思議を解き明かす。各宗教・神話の基礎知識も収録。

### 『一億三千万人のための「歎異抄」』

高橋源一郎/朝日新聞出版/188.7 円

戦乱と飢餓と天災の中世、弟子の唯円が聞き取った親鸞の「歎異抄」。西田幾多郎、司馬遼太郎、梅原猛らも魅了された、救い、悪、他力の教えを「今の言葉」に翻訳して伝える。

### 『一冊でわかる平安時代』

大石学[監修]/河出書房新社/210.3 円

平安時代とはいったいどんな時代だったのか？ 新たな遷都から源平合戦まで、平安京を都として展開された政治・経済・文化など、平安時代の歩みを同時代の世界情勢も含め、図表やイラストを交えてわかりやすく解説する。

### 『昭和の青春』

池上彰/講談社/210.7 円

学生運動に身を投じ、高度経済成長時代は猛烈に働き日本を発展させた 70 代。あの熱い時代は何だったのか。彼らの青春時代の文化や歴史を振り返り、今後の役割を問う。

### 『地図で読み解く日本の島』

長嶋俊介[監修]/カンゼン/291 円

島国日本のポテンシャルを知ろう！ 日本の島に関する全 55 トピックを地図を使ってビジュアル解説。それぞれの地形・交通・歴史・産業・文化が見えてくる。魅力たっぷりな「人口の少ない離島」も収録。

### 『浮世絵と芸能で読む江戸の経済』

櫻庭由紀子/笠間書院/332.1 円

落語・芝居のお金ネタから見える貨幣経済の浸透、徳川家康の読書好きがきっかけで盛り上がったエンタメ業界、明暦の大火をばねにした経済成長&産業革命…。現代に通じる経済システムを築いた江戸 260 年の物語を紹介する。

### 『エッセンシャルワーカー』

田中洋子/旬報社/366 円

スーパー従業員、介護士、ごみ収集作業員といったエッセンシャルワーカーが安く使われている現実とその変化を分析し、それが生み出された歴史的要因を考察。社会に不可欠な仕事の処遇がなぜ悪いのかという疑問にこたえる。

### 『親が心配な人の見守りテック』

和田亜希子/日経 BP/369.2 円

高齢になった実家の親の見守りを実現するのが、スマホを使った「スマートホーム」と「見守りテック」。エアコンの遠隔操作、スマートスピーカーなど、誰でも簡単に作れる DIY の実家見守りシステムを提案する。

### 『美しいアンティーク鉱物画の本』

山田英春[編]/創元社/459 円

19 世紀～20 世紀初頭に刊行された博物学書、鉱物図鑑、百科事典などの挿絵から、観賞用としての鉱物画の秀作を厳選して収録する。世界の鉱物画切手も掲載。B5 版に拡大し、鉱物図版や切手を追加した増補愛蔵版。

### 『60 歳からはこれをやめてこれをやる！』

藤原佳典[監修]/新星出版社/498.3 円

「1 日 3 食規則正しく食べる」「年をとったら肉より魚」「お風呂は寝る直前に入る」は正しい？ 最新の健康常識や生活習慣をわかりやすく紹介。ポジティブライフのための知識も紹介する。

### 『左利きさんのためのはじめての棒針編み』

佐野純子/日東書院本社/594.3 円

左利きの棒針編み初心者に向け、左利き専用の編み図とプロセス写真で基本の編み方を丁寧に解説。エコたわし、あみぐるみ、ポンチョ、マフラーといった小物の編み方も紹介する。

### 『味つけはせんでええんです』

土井善晴/ミシマ社/596 円

一生懸命お料理すればそこにあなたがいる。お料理するあなたが、あなたを守ってくれる。料理について考えていることを綴った、土井節炸裂の一冊。生活者のための総合雑誌『ちゃぶ台』掲載を加筆し書籍化。

### 『我が家のおせち』

有元葉子/東京書籍/596.4 円

自分で入手できる最上のもを準備して、家族でおせちを作る。料理研究家・有元葉子が毎年作る定番おせち 25 品ををはじめ、タイムスケジュール、道具やあしらい、盛りつけとコーディネートなどを紹介する。

### 『長く続けられる美しい庭づくり』

青木純子/主婦の友社/629.7 円

手間いらずの多年草で長く続けられるローメンテナンスガーデニングを紹介。作業を効率的にすませる工夫、作業のタイミング、便利な雑貨や道具などを、実例写真をつけてわかりやすく解説する。『園芸ガイド』掲載に加筆。

### 『老いてこそ、スマホ』

牧壮/主婦と生活社/694.6 円

物忘れ、目や耳の衰え、お金の心配、孤立の寂しさ、災害への不安…。人生後半のピンチはスマホに頼れ！ 検索から LINE、SNS、ネットショッピング、スマホ決済まで、シニアに向けて、スマホ活用術を徹底解説する。

### 『もっと知りたいやまと絵』

土屋貴裕/東京美術/721.2 円

やまと絵は千年もの長きにわたり描き継がれてきた、日本絵画を代表するジャンルの 1 つ。やまと絵の代表的な作例を取り上げながら、時に周辺分野の作例にも目を配りつつ、その長大な歴史をコンパクトに追う。

### 『うまくてダメな写真とへただけどいい写真』

幡野広志/ポプラ社/743 円

いい写真は誰でも撮れる！ 写真を趣味ではじめる初心者に向け、写真家・幡野広志が、写真の勉強法から光と距離、写真の誤解、カメラの設定、現像までを解説する。人気ワークショップをベースに書籍化。

### 『ランナーのカラダのなか』

藤井直人/小学館/782 円

「ウインドスプリントで疲労を飛ばす」「1 日サボると戻すのに 3 日かかる」は事実なのか？ 運動生理学の観点から、ランナーのカラダのなかで起こっている現象について、数々のエビデンスに基づいて解説する。

### 『方言はなぜ存在するのか』

大西拓一郎/大修館書店/818 円

人名や地名と方言の関係、文法の地域差などを例に、地理空間におけることばの変化のしくみを考察。言語記号の恣意性を超えた有縁化の働き、方言分布の基本則を明らかにし、なぜ方言は存在するのかという謎に迫る。

### 『寂聴源氏物語』

紫式部/講談社/913.36 円

光源氏の誕生から、さまざまな女性たちと出会い、数奇な運命を経てこの世を去るまでの物語をたどれるよう、瀬戸内寂聴の現代語訳「源氏物語」全 10 巻を 1 冊に再構成。解説、あらすじ、主要人物紹介、主要人物系図付き。

### 『思い出の屑籠』

佐藤愛子/中央公論新社/914.6 円

「モダンガールが来たァ」「嘘について」「はじめての敵意」…。100 歳を迎えた佐藤愛子が、甲子園の近くで暮らした幼少期から小学校時代までの思い出を綴る。『婦人公論』連載を単行本化。

### 『夜明けのはざま』

町田そのこ/ポプラ社/F 円

地方都市の寂れた町にある葬儀社「芥子実庵」。親友の自死の知らせを受けた葬祭ディレクター、元夫の恋人の葬儀を手伝う花屋…。死を見つめることで、自分らしさと生への葛藤と決意を描く。『季刊 asta』連載に加筆修正。

